

## 「浜出祭の歴史学—初めてたどる迷路の楽しみ」

s 39年卒 岡崎新太郎

昨年の夏に、北高夢ロードが滝部公民館（太陽館）中心に滝部下市・駅前の「まちあるき」をした際に、そのプロローグの一つとして浜出祭のビデオを観ました。その前後から豊北高校同期の歴史学者・樋口州男君と浜出祭とモンゴル襲来のことについてメールのやり取りをして、色々と教えていただき、論文・書物を送っていただきました。これらの資料を私だけの手元に置いておくにはもったいない思いですし、いつかは豊北の方々、高校生・中学生と一緒に歴史の学びをする機会を持ちというアピールの場として北高文化祭・ようこそ先輩の場を使わせていただきました。豊北の地にはすでに浜出祭や北浦への蒙古襲来について深い研究をされている方が多くおられます。門外漢としてそれに付け加える何かを持ち合わせている者ではありません。手探りで迷路をたどる楽しみを皆さんとしてみたいと思います。

北高・安村教頭先生から今、高校現場で使われている世界史、日本史の教科書を見せていただきました。自分が高校時代に教わった内容とはずいぶん違う印象です。すごいことを学んでいるのだなとびっくりします。

北高3年生の川部那萌さんの浜出祭のフォット・レポートを楽しみながら皆様と資料を観ながら歓談したいと思います。

豊北でのモンゴル襲来をビジュアル化したい、絵にしたい、紙芝居にしたい、漫画にしたいと考えるとわからないことばかりです。700年前のこの地の人々の生活をできるだけ再現し、モンゴル襲来を物語化するとしたらどんなものになるかと思ひめぐらせています。

一方で歴史学の方法とは何なのだろうという興味もあります。浜出祭、モンゴル襲来をテーマにして歴史学の初歩を踏んでみたという希望があります。

樋口州男君による「浜出祭と蒙古襲来・研究史整理ノート」を足がかりにします。

一緒に学ぶグループを作りたいと願っています。

2018・6・10